

学校と地域の連携を支援

コミスクえひめ

地域と学校の垣根を越えて 子どもたちが成長できる場を



(一社)コミスクえひめは、地域と学校が連携、協働して取り組む学校づくり「コミュニティ・スクール」と、地域づくり「地域学校協働活動」を支援する団体です。代表理事の西村久仁夫さんは、平成30年7月豪雨災害の時に吉田中学校の校長を務めていて、地域と学校が大きな被害を受ける中、地域の人たちが学校に流入した土砂の撤去などを行い、中学生たちは被災したかんきつ農園で収穫を手伝うなど、地域と学校が助け合う姿を目にし、その大切さを実感しました。この助け合いの輪を広げるため、退職後の2019年に元教員仲間10人と同団体を設立し、現在は県全域へ活動を広げています。

主な活動は、地域に多様な学びの場を提供している(一社)キャンパスとの連携による、学校や公民館での出張体験講座です。うわじま土曜塾ではドローン教室などの体験学習を行いました。他にも、地域と学校が連携することの重要性を周知するため、フォーラムを開催しています。

西村さんは「地域と学校の絆が、子どもたちと地域の明るい未来を創る。地域と学校の垣根を越えて、子どもたちが成長できる場を作りたい」と語ってくれました。